

和敬會

学祖 松本生太先生 筆

和敬会だより

2016.4.19 発行 18号



鎌倉女子大学和敬会

☎247-8511 鎌倉市岩瀬1420 ☎0467-44-2200

鎌倉女子大学和敬会

検索

北海道支部会の開催

—伺えませんでした



理事長

福井 一光

「北海道支部の皆さんが札幌で支部会を開くのでお出で頂けませんか」と、支部長の村川さんからご連絡を頂いたのは、昨年四月のことでした。

私も、北海道は日本の風景の中で最も雄大で、ややヨーロッパを感じさせる大好きなところですし、お約束した以上、必ず出席しなければと、随分前から羽田—札幌の航空チケットを購入し、村川さんとの事前の遣り取りも重ねながら、紀子先生の名代の家内と秘書の伊藤君と三人で伺うことを楽しみにしておりました。

ところが、直前になって天候不良が伝えられ、前日の午後には「明日は爆弾低気圧の襲来」とのニュースが飛び交い、これは欠航になる可能性が高い、仮に飛び立っても、特に北海道が荒れているので千歳に着

陸できずに羽田に引き返す可能性もなくなると。そうであるなら、より確実な新幹線と在来線の乗り継ぎで札幌入りした方が安心ではないかということで、急遽鉄道チケットに切り替えたわけです。

しかし、これが結果としてはいけませんでした。

当日、強風ながら快晴の東北路を北上し、家内と「大沼公園は素晴らしいだろうね」などと話しながら、青森近くまではよかったのですが、車内アナウンスで「青函トンネル内の停電で乗り継ぎは出来なくなりました。その先の函館—札幌間の開通の見込みも立っておりません」と。伊藤君があれこれ調べてくれたのですが、翌朝一番の青森発でも、とても支部会の開催時間には間に合わず、到着は午後遅くなること。仕方が

ないので、お陰様で幸か不幸か青森見物をさせてもらいました。

弘前に泊まり、櫓を改修中のお城を散歩し、「上野発の夜行列車 おりた時から青森駅は 雪の中」ではないですが、駅脇の青森港に係留されている、今は博物館になっている青函連絡船では、懐かしい昭和、それも戦後の風景に引き戻されました。

支部会は、悪い出話に花が咲いたことでしよう。大事を取ったのが、却って仇となつた、村川さん初め皆さんにはご迷惑をかけたので、あれも間違っていたのか、その後少し考えさせられるものがありました。この四月には、北海道新幹線も開業するということが、飛行機が電車か、次の機会は、さてどちらで伺いましょう。

孤掌難鳴

—こしよう ならしがたし—



和敬会会長

金子小夜美

「若さば 年とは関係ない 年では測れない」

この言葉通りに、生き生きと活躍されているたくさんの方の和敬会会員の皆様、お元気にてお過ごしのことと思います。

表題の「孤掌難鳴」(水滸伝より)は

片方の手だけでは鳴らない。 相棒がいないと事は成就しない という意味だそうです。

片方の手は—皆様 お一人お一人の手。もう片方は—全国に五万人程おられる卒業生が会員の「和敬会」と「各支部」の手。そして「鎌倉女子大学」の手。

皆様は、今居られる場所で

で、ご自身を生かし 人生を豊かに送られていること



でしょう。その中で、「和敬会」の力は微々たるものですが、どのような仕事をしたいけば皆様の片手になれるか考えて行こうと思います。

幹事会では、在校生や会員の皆様のご活躍の紹介・ホームページの立ち上げ・みどり祭参加・補助金交付 等々工夫をしています。また 各支部では支部長を中心に、支部総会・支部新聞の発行・親睦会 等々 地域色豊かに活動しています。更に拡げられるよう皆様 手を携えて行きましよう。

お知らせ

① 甲信越支部として新たに発足

平成26年6月の支部長会にて「支部の区割りを見直してほしい」との意見が出ました。検討の結果 信越支部に山梨県の同窓生を加えて 今年度より「甲信越支部」といたします。ご関係者の皆様、会員の皆様 どうぞよろしくお願いいたします。

② 平成30年10月—和敬会総会

八年ぶりですが、皆様と久方ぶりにお会いできるのが楽しみです。ちよっと先ですが、予定に組み込んでおいてください。



思いを新たに

平成9年 中等部・高等部教諭退職

独立書人団 参事

秋本 耿雨（廣子）

鎌倉の京浜女子短期大学中等部・高等部の国語・書道の教諭として勤務して半世紀が過ぎました。教員採用試験の面接が松本尚先生でした。松本生太先生・松本尚先生・仁科眞三郎先生・松本紀子先生の御指導を受けて、生徒と共に学園で実りある時を重ね、今がある事に感謝しております。

授業と掃除。卒業証書・掲示物・運動会の賞状書き。「緑苑」の編集。修学旅行・研修会の引率など多くの貴重な仕事をさせていただきました。職員の皆様に支えられて多くの尊い経験を糧として現在の自分がいることに思いを新たにしております。小学校五年に始めた書道。楽しく続けて「今」があります。書の活動

として、学園には「和敬」の額。横須賀市の愛后山公園に文学碑「与謝野夫妻の歌碑」建立の折、晶子夫人の歌を揮毫。母校の創立百周年記念に校歌等の揮毫をして記念碑として建立されています。

「現代女流書二〇〇人展」が日本橋高島屋で開催された折、会場にて常陸宮妃華子さまのご案内を務めさせていただきました。日本郵便株式会社平成二五年「支切手一午」に万葉仮名「宇万」を書いて参加。北京で「二〇一五 七夕の折り 乙女の夢―国際婦女書法作品展」に出品と作品寄贈。高野山開創二二〇〇

年記念 奉賛献書など多くの書活動に参加しました。

横浜ランドマークプラザ三階で毎年「かながわ書道まつり」が開催され、チャリティー作品の展示と小中高校生の八ガキ作品が展示され、賑やかな楽しい時も過ごしています。

現在は、毎日書道会評議員・毎日書道展審査会員・全日本書道連盟評議員などを中心に活動を続けております。これ等もみな学園で体験してきました数々の教えと協力・愛が礎となっていることに思いを重ねております。ありがとうございます。



外交官の妻として

昭和50年度 短期大学部家政科卒業

中野 恵子（旧姓堀口）

和敬会の皆さま、お久しぶりです。短期大学を卒業して、今年で四十年になります。卒業後七年間会社勤務をし、最後の四年間は栄養士として仕事をしました。

結婚と同時に退職し、外交官の妻として、エジプト・スリランカ・インド・ジャマイカを主人と共に赴任しております。

スリランカでは慣れない海外生活の中、子育てをしながら異国文化にふれ、学ぶ事も多くありました。スリランカに五年四か月勤務した後、三男が大学に入学するまで日本に十五年おり、その後インドのチェンナイ（旧マドラス）に主人が総領事として赴任が決まりました。ここでは館長夫人として公邸の維

持管理をし、お客様を接待する時の献立を作り、またインドの方へ日本文化の紹介として、折り紙やお茶席、生け花等のデモンストレーションを行いました。献立作りの際は、栄養士として学んだ事が大変役に立ちました。

当初、邦人の方は単身赴任者が多かったのです。だんだんと家族連れで赴任する方が増えてきたので「赤ちゃん会」をつくり、情報交換の場を設けたりもしました。

そんな中、二〇一三年十二月に天皇皇后両陛下をお迎えする事となり、準備に主人ともども奔走しまし

た。

両陛下にはチェンナイで生活している日本人の方の様子や、インドの方との交流をお伝えしました。

そして四年弱のインド勤務の後、昨年より主人はジャマイカ大使として赴任しております。中南米は初めてなので、新しい発見がある事と思えます。

鎌倉女子大で学んだ建学の精神を忘れずに、今までの経験を活かし、多くの方との交流が行えたら良いなと思っております。

中・高等部

書道部

◆平成27年全国書初大会
(全日本書芸文化院主催) (2月11日)
学生部 特選賞 高等部1年 石原帆乃佳



マーチングバンド部

5月3日、マーチングバンド部は「ザよこはまパレード」に参加しました。このパレードは山下公園から赤レンガ倉庫、馬車道を通る1年で最も距離の長いパレードで、TVKで放映されています。この日は夏を感じさせるような日差しの下、沿道にあふれるお客様からの声援をいただきながら、はつらつとした演奏・演技を披露しました。新たに入部した高等部1年生も横断幕などの担当としてパレードに参加しました。



◆マーチングバンド関東大会 第50回記念大会
高等学校の部 中編成 金賞・最多出場記念
(11月8日 さいたまスーパーアリーナ)

新体操部

新体操部は、5月5日に横須賀アリーナで行われた関東高等学校県予選

会に出場しました。5人1組で行うフープ&クラブの団体競技において、大きな投げ受けを次々と決め、会場から大きく温かな拍手をいただきました。結果、会心の演技で第3位に入賞し、2年連続で関東大会の出場権を獲得しました。地道な努力は裏切らないことを、身をもって感じる事ができ、益々前向きに粘り強く、練習に取り組んでいます。



◆神奈川県高等学校新体操大会兼関東高等学校新体操大会県予選会
(5月5日 横須賀アリーナ)

【団体競技 3位】
高等部3年 原口真利杏、高階成美、浅川遥、
高等部2年 秋谷まにす、杉浦花穂



輝く今...

世界大会を終えて

児童学科4年 出口まゆ子

7月30日から8月10日まで、カナダのモントリオールで開催された「国際一輪車競技大会」に出場しました。結果は優勝が2種目【19-29歳女子の部 (30mタイヤ乗りレース)、(50m片足走行レース)】、3位が2種目【(100mスプリント)、(ペアフリー



第48回神奈川県私立小学校陸上記録会

初等部教諭 山田陽平

秋晴れの気持ちの良い空の下、第48回神私小陸上記録会が行われました。子どもたちは一人ひとりが自己ベストを目指し、集中力を高め競技にのぞむことができていました。

その結果、5年生が4種目・6年生が9種目で1位を獲得するなど、多くの入賞者ができました。さらに、6年男子の80mハードルでは新記録を樹立することができました。また、惜しくも入賞まで届かなかったものの、自己ベストを更新した児童が、数多く出ました。

今回の記録会で、競技の他にもう一つ子どもたちが輝いた場面がありました。それは、応援です。始めは、それぞれ送っていた声援が、だんだんと一つに重なっていき、広い競技場いっぱい届く大きな波となりました。

今回、例年以上に素晴らしい記録が出たのも、この応援があったからだと思えます。

練習でつくりあげた強い身体と、磨き上げた技、そして仲間を思う心に大きな成長が見られた良い記録会となりました。



初等部



数学検定グランプリ

初等部教諭 森本光太郎

初等部では年に3回、希望者を募り実用数学技能検定を実施しています。これまでの取り組みに対し、公益財団法人日本数学技能検定協会より優秀な成績を取った団体として評価され、「第22回 実用数学技能検定グランプリ 金賞 (小学校部門)」をいただきました。

実用数学技能検定グランプリは、算数・数学の学習に意欲的に取り組んでいる個人や団体の努力を称える表彰制度です。今回の受賞を励みに、算数科学習の一層の充実に努めていきたいと考えています。

短大・大学

スタイル・エキスパート部門)】でした。今大会で私は、同世代の日本人の中で、最初に競技をすることが多かったため、驚きと戸惑いがありました。そのような状況のなか、「自分との戦いであり、全力を尽くす」ことを意識して挑みました。全ての競技で思い通りの結果になった訳ではなく、悔しい思いもしました。しかし、世界という大舞台で戦えたこと、沢山の国の選手と関わったこと、世界という大舞台だからこそ感じた喜びと悔しさなど、貴重な経験が出来ました。改めて、海外へ行かせてくれた家族、指導して下さる先生、大学の理解と協力に感謝しています。

これからも感謝の気持ちを忘れずに日々、頑張りたいです。



◆一日女性警察官 (12月17日)

学生5名が神奈川県大船警察署長から一日警察官の委嘱を受けた後、大船駅構内にて大船警察署や地域の方と一緒に「振り込め詐欺」、「ちかんに注意」、「交通安全」、「飲酒運転」などの防犯・危機意識を啓発するキャンペーンを行いました。

事務局から

★六月 和敬会二期目（四年任期）の幹事会で年間計画、業務計画、学長への挨拶が始まります。

★七月・八月・九月 金子会長のもと、名簿管理、和敬会だより編集、支部会、みどり祭、会計と役割分担が出来ており、担当幹事が、それぞれ仕事をほじ

めます。

★十月 北海道支部総会に、当日早朝寒さ対策をし出掛けました。風が少しあるものの暖かい一日でした。学長も参加することになってお

りました。前日の荒天で

青森で引き返されたとのこと、

残念でした。広い北海道、私たちよ

り早い時間に出掛けられた方など十数名が集まりました。寮生活のはなし、

親への感謝、近況報告、学生時代にもどりなつかしいひとときを過ごしました。校歌をうたい、記念写真を撮り盛況におわりました。

★十一月 みどり祭に参加、「カフエ和敬会」に六百余名の会員を迎えました。今年から還暦の方に招待状を出し、記念品（ファイル）を差し上げました。招待状をいただいたと、新潟の方のお声かけでお友達四名が集い、なつかしい思い出話に花を咲かせておられました。平成28年は75歳以上の方にも招待状をお出します。学園祭を知らない世代の会員の皆様、ぜひ大船キャンパスのみどり祭にお越し下さい。お茶と鳩サプレーをご用意して、お待ちしております。

★十二月・一月・二月 和敬会だよりを四月十九日に送付するべく編集作業しております。

野尻 久美子
旧姓 石田

初・中高・短大 家政科 昭和50年度卒

メッセージ

私は初等部から短大まで、鎌倉女子大で学ばせて頂きました。還暦のハガキを頂き、当時の先生方や同級生に会う事が出来、とても嬉しく思いました。鎌倉女子大学の益々の御発展を心よりお祈り申し上げます。



★三月 学生、生徒、児童の卒業。新しい会員の名簿の作成、管理の作業をしております。

★四月 和敬会だよりの発行、送付

★五月 一年の会計のまとめ、来期の予算などそれぞれの担当幹事が仕事を行っております。

支部会だよりは次回（五回）甲信越支部です。宜しく願います。

平成26年度 和敬会収支決算書

収入の部

費目	金額
同窓会費	6,953,000
預金利子	1,991
雑収入	3,700
前年度繰越金	6,083,163
合計	13,041,854

支出の部

費目	金額	
事業費	和敬会便り出版費	4,576,125
	支部費	719,731
	H P 費	480,640
	みどり祭	363,212
運営費	559,207	
事務費	381,200	
設備・備品費	714,945	
通信・連絡費	143,986	
消耗品費	17,927	
会館準備費	3,500,000	
総会準備費	-	
慶弔費	86,807	
支出合計	11,543,780	
繰越金	1,498,074	
合計	13,041,854	

以上収支決算について公正、妥当であると認め、相違ないことを報告いたします。

平成27年6月4日

監事

田中 幸子 (印)

監事

吉崎 陽子 (印)

支部だより

第四回

北陸支部

「支部長を引き継いで」

石川県鳳珠郡 橋本 玲子

今年度から、長年北陸支部長としてお世話くださった野田先輩より、「誰か支部長を」と言っておられ支部長を引き継ぐ事となりました。北陸(富山・石川・福井)の地から全国に向けて、少しでも活動の場を知って頂き、北陸にも足を運んで頂ければ幸いです。

昨年は、北陸新幹線の開通で東京と金沢間が二時間半に短縮され、城下町

金沢の風情を味わうと共に、輪島市ではNHK連続テレビ小説「まれ」の収録もあって、

能登地方にもたくさん観光客の方々が足を運んでくださいました。それと同時に、五月二十六日には、金沢市アートルホールで松本紀子先生と大庭照子先生によるコンサート「愛のハーモニー金沢」が催され、和敬会の方々も多数集まりました。先生方におかれましては、今日に至ってもご健在で、とても素晴らしい歌声を聴かせて頂くことができました。その後、お二人の先生方を囲んで、懐かしい顔ぶれの皆さんと共に、学寮にいた頃のことや学生生活での思い出、卒業後の話などをしたり、

再会の約束もしたり...とても楽しいひとときを過ごすことができました。

秋になり和敬会の同級生達から「栗拾いに行つてあげる。その後、能登(珠洲)の民宿で一緒に泊まろう!」あの約束が叶いました。能登栗を土産に、とても嬉しい二日間でした。

私は、卒業してから三十九年間、地元で教職に携わり、退職と同時に父が他界しました。当時、父が残した広い栗山も今では半分程になりました。父がどんな思いで子に残したのかを思うと捨てがたく、試行錯誤を重ねながらおいしい能登栗を育てると同時に昨年からは、退職校で相談員として子ども達と触れ合う機会を得ました。健康に留意し元気で笑顔で頑張りたいと思います。今後ともよろしくお願い致します。

訃報

沼田 裕之 先生

教育原理 ご担当
平成二十七年 四月八日 逝去

野垣 義行 先生

教職概論 ご担当
平成二十七年 六月十八日 逝去

金井 節子 先生

衣料学 ご担当
平成二十七年十一月二十六日逝去

庄村 喬 先生

微生物学 ご担当
平成二十七年十二月十八日 逝去

ご冥福をお祈りいたします

お誘い
みどり祭
「カフェ和敬会」

第22回鎌倉女子大学学園祭

岩瀬キャンパス

中・高等部 9月17日(土)
18日(日)

幼・初等部 11月12日(土)
13日(日)

大船キャンパス

短・大学 11月19日(土)
20日(日)

平成28年「カフェ和敬会」は、大船キャンパスに参加します。お誘い合わせのうえおこし下さい。

第21回鎌倉女子大学学園祭



鎌倉女子大学

大船キャンパス	大学院	大学	家政学部	児童学部	教育学部	短期大学部
	〒247-8512 鎌倉市大船6丁目1番3号 TEL.0467-44-2111 (代表)					
岩瀬キャンパス	高等部	中等部	初等部	幼稚部		
	〒247-8511 鎌倉市岩瀬1420 TEL.0467-44-2200 (代表)					